学校番号	3021

令和２年度　地理歴史科（2 年）

教科	地理歴史	科目	日本史Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「日本史Ａ改訂版」（山川出版社）						
副教材等	「新詳日本史」（浜島書店），「改訂版 詳録新日本史史料集成」（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史を学ぶ意義にはさまざまなことが挙げられますが、中でも重要なのは、現代を相対化できる感性を養うことです。物質的な豊かさや精神的な自由、平和や民主主義など、現代を生きる私たちにとっては当たり前のことが 100 年前には当たり前ではなかったという事実を学ぶことで、私たちが属している社会が決して超時間的な存在ではないという気づきに繋がればと考えます。
・授業形態は講義形式を基本としますが、班に分かれて各自が自分の考えを出し合い、討論する機会も設定します。

2　学習の到達目標

・日本の近現代史を、さまざまな資料に基づきながら地理的条件や世界の歴史とも関連付けつつ、現代の諸課題に着目して考察します。
・上記の学習活動をとおして歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚や資質を養うことを目標とします。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	我が国の近現代の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	我が国の近現代の歴史の展開から課題を見いだし、国際環境と関連づけて多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	我が国の近現代の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	我が国の近現代の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	定期考査 学習活動を観察	定期考査 学習活動を観察 ワークシート レポート	定期考査 学習活動を観察	定期考査 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	近世社会の動揺と近代への胎動	・幕藩体制の動揺と政治改革 ・新しい経済構造と学問の芽生え ・日本をとりまく世界の変容	○	○ ○	○	○ ○	a:欧米諸国のアジアへの進出と日本の社会や文化との関連や、近代とのつながりについて意欲的に追究している。 b:幕藩体制の変容と近代化の基盤の形成から課題を見いだし、欧米諸国のアジアへの進出と関連付けて多面的・多角的に考察するとともに公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c:欧米諸国のアジアへの進出とその影響や課題に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択している。 d:幕藩体制の変容と近代化の基盤の形成についての基本的な事柄を、欧米諸国のアジアへの進出と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
前期	開国と明治維新	・アジアの激動と日本の開国 ・江戸幕府の滅亡 ・明治維新 ・富国強兵 ・明治初期の外交 ・殖産興業と文明開化	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	a:近代国家の形成と社会や文化の特色について意欲的に追究している。 b:明治維新以降の我が国の近代化の推進過程から課題を見いだし、開国と幕府の滅亡、文明開化など欧米の文化・思想の影響や国際環境の変化と関連付けて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c:近代国家の形成と社会や文化の特色に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択している。 d:明治維新以降の我が国の近代化の推進過程についての基本的な事柄を、開国と幕府の滅亡、文明開化など欧米の文化・思想の影響や国際環境の変化と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

前期	立憲国家の成立	・自由民権運動 ・立憲制の成立 ・立憲政治の展開 ・日清・日露戦争 ・産業革命と社会の変容 ・明治の文化	○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○	a:我が国が立憲国家となるまでの政治史に対する関心と課題意識を高めている。 b:我が国の立憲国家としての展開から課題を見いだし、条約改正、日清・日露戦争とその前後のアジア及び欧米諸国との関係の推移と関連付けて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c:立憲制の展開や日清・日露戦争に関する情報を読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:近代産業の発展の経緯や近代文化の特色とその成立の背景についての基本的な事柄を、国民生活の向上と社会問題の発生、学問の発展や教育制度の拡充と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 レポート
前期	第一次世界大戦と日本	・政党政治の展開 ・ワシントン体制 ・経済・社会の変容 ・市民文化	○ ○	 ○ ○	 ○ ○	○ ○	a:政党政治の展開や、それと深く関連する経済や社会の変容について意欲的に追究している。 b:政党政治の発展、大衆社会の特色とその成立の背景から課題を見いだし、政治や社会運動の動向、都市の発達と農産漁村の変化及び文化の大衆化と関連付けて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c:政党政治の展開や経済・社会の変容に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択し読み取るなどしている。 d:政党政治の発展、大衆社会の特色とその成立の背景についての基本的な事柄を、政治や社会運動の動向、都市の発達と農山漁村の変化及び文化の大衆化と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

後期	昭和の恐慌と満州事変	・恐慌の時代 ・政党内閣期の内政と外交 ・軍部の台頭	○	○ ○ ○	○	○	a:昭和初期の政治と社会などの特色に対する関心と課題意識を高めている。 b:政党政治の展開や対外政策の推移、国内の経済・社会の動向を、国際社会の中の日本の立場と関連付けて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c:昭和初期の社会などの特色に関する情報を読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:昭和初期の政党政治の推移や軍部の台頭についての基本的な事柄を、国内の恐慌や国際社会の中の日本の立場と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
後期	第二次世界大戦と日本	・日中戦争 ・重化学工業化と統制経済 ・第二次世界大戦と太平洋戦争	○ ○	○	○	○ ○	a:日中戦争・太平洋戦争と国内経済や国民生活、近隣諸国との関係について意欲的に追究している。 b:対外政策の推移と戦時体制の強化など日本の動向と第二次世界大戦との関わりから課題を見いだし、国際社会の動向、アジア近隣諸国との関係と関連付けて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c:戦時体制の強化や近隣諸国との関係に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択している。 d:対外政策の推移と戦時体制の強化など日本の動向と第二次世界大戦との関わりについての基本的な事柄を、国際社会の動向、アジア近隣諸国との関係と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

後期	現代の日本と世界	・占領下の日本 ・経済繁栄と保守長期政権 ・現代の世界と日本 （これらの内容を概観する）	○ ○	○	○	○ ○	a:現代の社会や文化の特色、社会と個人、世界の中の日本、地域社会の歴史と生活などに対する関心と課題意識を高め、意欲的に探究しようとしている。 b:我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移、経済の発展や国民生活の変化、社会と個人、世界の中の日本、地域社会の歴史と生活などから課題を見いだし、科学技術の発達、経済の国際化と関連付けて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c:現代の社会や国民生活の特色、社会と個人、世界の中の日本、地域社会の歴史と生活などに関する情報を読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移、経済の発展や国民生活の変化、社会と個人、世界の中の日本、地域社会の歴史と生活などについての基本的な事柄を、科学技術の発達、経済の国際化と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。	ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。